

主催:地域レジリエント社会研究コンソーシアム

地理情報活用WG 第2回ミーティング

共催:埼玉大学産学官連携協議会 防災DX研究会

地方自治体の防災体制 と地理情報活用の展望

9:30-10:00 受付

シアター教室正面ホール

10:00-12:00

◇ 「埼玉県の防災体制」

吉田 広毅氏（埼玉県危機管理防災部災害対策課災害対策担当）

◇ 「地域のリスクを共有する埼玉モデルのご提案」

多嘉良 朝恭氏（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
デジタルビジネスデザイン部）

2026.2.4 [木] 10:00-12:00

会場：埼玉大学 総合研究棟1号館1階 シアター教室

対象：地域レジリエント社会研究コンソーシアムに関心を有する
企業・団体、興味関心のある方個人

参加費：無料

参加方法：対面または、オンラインどちらでも参加可能

ご参加希望の方は、右のQRコード

または下記URLより2月2日までにご登録をお願いします。

<https://forms.office.com/r/kaPWXBHnUN>



お問合せ 地域レジリエント社会研究コンソーシアム事務局

E-mail: secretary-consortium@gr.saitama-u.ac.jp

地域レジリエント社会研究コンソーシアムについて

近年、自然災害の激甚化や多様化に伴い、地域社会における防災・減災・縮災への対応力の強化は喫緊の課題となっています。また、少子高齢化や多様化する地域ニーズに対応したレジリエントな社会の構築には、従来の枠組みを超えた連携・協働の仕組みが必要とされています。こうした背景のもと、大学、行政機関、民間企業等が互いの知見や技術を持ち寄り、地域の課題解決に向けて連携を図るためのプラットフォームとして、「地域レジリエント社会研究コンソーシアム」を設立いたします。

本コンソーシアムは、防災に関して地域が抱える多様な課題に対し、研究開発の拠点である大学、地域の実情を熟知する自治体、実践的な技術とノウハウを持つ企業など、多様な関係者がそれぞれの立場から相互に交流・協力し、実効性の高い取り組みを展開することを目的としています。具体的には、防災計画の策定・改善、災害対応体制の強化、インフラの維持管理や保全、企業の事業継続計画の推進、災害時における多様性への配慮といった、幅広いテーマについて情報を共有し、必要に応じて共同研究や社会実装につなげていきます。また、埼玉県や県内自治体、地元企業などから寄せられるニーズを受け止め、それに応じた取り組みを検討することも、コンソーシアムの重要な役割です。

さらに、コンソーシアムを通じた活動により、最新技術や知見を地域に還元することで、自治体や企業、地域住民を含めた地域全体の防災力向上を図り、災害発生前の備えから、発災時の迅速な応急対応、被災後の復旧・復興体制の構築までを支援することが可能となります。こうした連携を通じて、地域に根差したレジリエント社会の実現を目指します。

本コンソーシアムは、会員間の連携を深め、研究成果の社会実装や政策提言を行いながら、地域社会の安全・安心の確保と持続可能な発展に寄与してまいります。

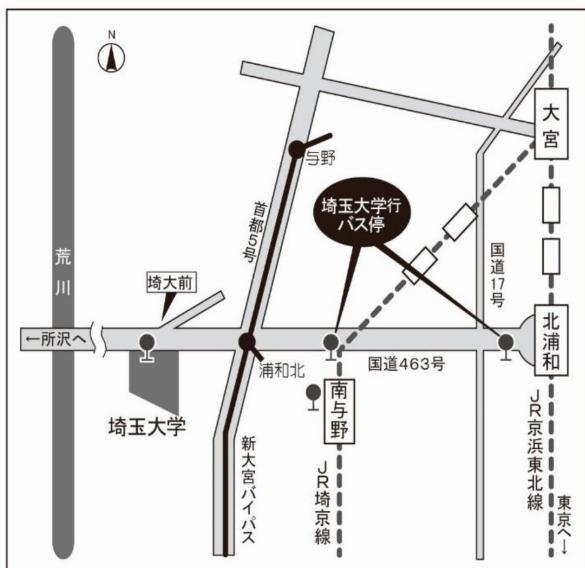
お問合せ 地域レジリエント社会研究コンソーシアム事務局

E-mail : secretary-consortium@gr.saitama-u.ac.jp

埼玉大学への交通案内

- 東京駅 → JR京浜東北線 (快速35分) 北浦和駅西口
→ バス (埼玉大学行き 約15分・約3.5km)
- 新宿駅 → JR埼京線 (34分) 南与野駅
→ バス (埼玉大学行き 約10分・約2.2km)

※交通事情により到着時間に遅れが生じる場合があります。ご了承ください。



キャンパスマップ

